

2018年度 冬号

Communication

通信



◆ 発行日 2019年1月 ◆ 発行

〒213-0022 川崎市高津区千歳435-10

TEL 044-833-7562

FAX 044-833-7534

認定NPO法人フリースペースたまりば

<http://www.tamariba.org>

E-mail : freespace@tamariba.org

認定NPO法人になりました！ - ご寄附や応援会費に税の優遇措置が受けられるようになります

いつも「NPO法人フリースペースたまりば」をご支援いただき、本当にありがとうございます。おかげさまで、私達は2018年12月13日に川崎市から認定を受け、市内で9番目の認定NPO法人（5年更新）となることができました。

認定NPO法人となるためには、公益的な活動の占める割合が50%以上であること、運営や経理が適正であること、情報公開が適切になされていることなどと併せて、その活動が広く市民からの支援を受けているかどうかも問われます。幅広い支援の具体的な指標として、パブリックサポートテストと言うのがあり、例えば年間3,000円以上の寄付者が100人以上いるかどうかなどを基準とします。こうした厳しい基準をクリアした認定NPO法人は、平成30年10月末現在1,092法人のみで、全国で51,697法人あるNPO法人の中のわずか2.1%しかありません。（内閣府ホームページより）

この認定NPO法人制度は、NPO法人への寄附を促すために設けられた制度でもあります。そのため認定NPO法人への寄附に対して税制上の優遇措置が設けられています。

まず個人の寄附者の皆様については、所得税の控除が受けられるようになります。控除を受けるためには、認定NPO法人が発行する領収書を添付し、税務署に確定申告をさせていただく必要があります。フリースペースたまりばを応援してくださっている皆様には、応援会費やカンパなどを郵便振替口座へご送金くださっている方も多いかと存じます。認定NPO法人となった2018年12月13日以降にご送金くださったご寄附については、年間（1～12月）をまとめた領収書を発行し、確定申告に間に合うように皆様に送付する予定です。ご活用ください。

認定NPO法人への寄附に対する税制優遇措置

個人所得税

所得控除か税額控除かを選択して確定申告することで税金が還付されます。

相続税

相続や遺贈により得た所得を認定NPO法人へ寄附した場合、その寄附額は相続税がかかりません。

個人住民税

確定申告することで翌年の神奈川県民税・川崎市民税が控除されます。

法人税

寄附金損金算入額が一般枠と特別枠の合計となり、損金算入できる金額が増加します。

また、神奈川県と川崎市にお住まいの方は、住民税控除が受けられるよう両自治体に申請を行ったところです。住民税についても確定申告することで、神奈川県民税と川崎市民税も寄附控除が受けられるようになります。他にも、個人からの遺贈や相続により取得した財産を認定NPO法人へ寄附をした場合、その寄附をした財産の価額は相続税の課税価格の計算の基礎に算入されないという優遇措置もあります。

さらに法人からのご寄附についても、特定公益増進法人に対する寄附金に含めて損金算入できるようになり、これまでの損金算入額よりもぐっと大きくなります。これを機に、ぜひ子どもたちの豊かな学びや育ちの場、誰もが安心できる居場所づくりを支えていただけたらと幸いです。（もとお）

郵便振替口座 00200-2-57382
特定非営利活動法人フリースペースたまりば

ゆうちょ銀行 〇二九（ゼロニキュウ）店
当座 0057382

※郵便局のご自身の口座からなら送金手数料がかからずに振り込みできます。郵便局以外の金融機関からも振り込めます。支店名を「セ」で検索してください。

認定
NPO法人
フリースペース
たまりば
って...?

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体（フリースペースえんを含む）の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

笑って！踊って！たかはしべんコンサート

11月20日はかわさき子どもの権利の日。たまりばでも毎年権利について考えるイベントを行っており、今年は歌手のたかはしべんさんをお招きし、コンサートを行いました。べんさんはスタッフのマサが高校生のときに出会い、「とっても素敵なのでぜひえんのメンバーにも出会ってほしい」と、この会が実現しました。どんな人なのかワクワクしながらみんなで会場の準備をし、コンサート中にはみんなグラグラ笑って楽しんでいました。ちょっと覗きにきたつむりの小学生の男の子は気づいたら最後までいたとのこと。『ゴキブリの歌』などのおもしろい歌から“人は点数でははかれない” “やりたいことは何歳からでもできる”などの歌を通してたくさんの大切なメッセージを届けてくれました。隣にいる人たちと“ぎゅー”っと抱き合う歌や平和を歌った曲をみんなで踊ったり歌ったりしながら、とっても盛り上がりました。コンサート後には、「べんさんの歌を聴いてなんだか身体が軽くなりさわやかな気持ちになった」と言っていた人がいて、その言葉がとても印象的でした。(あかり)



芸術と出会う岡本太郎美術館

12月13日(木)に生田緑地の中にある“岡本太郎美術館”にみんなと行ってきました。自分が子どもの頃、美術館なんてほとんど行かなかったけれど、えんではアートの講座の講師・有北さんと一緒に年に一回、様々な美術館や博物館を訪れています。最近えんに来ていない子たちも来ていて、美術館を一緒に回れて嬉しかった！岡本太郎の作品は私たちの身近にもたくさんあるので、子どもたちから「何か見たことある！」「これ知ってるー！」という声がよく聞こえました。初めて見る絵画に対して「これってすごいの？」と訪ねてくる子。すごい作品なのはもちろんだけど、自分の目で見て自分なりにどう感じるかが美術館の魅力なんだなとみんなと回りながら感じました。座っても良い椅子などもあって、とりあえずみんな座って何かを感じていました。最後はみんなで生田緑地にあるプラネタリウムを見て癒されて帰りました。この美術館企画後に別の美術館に行っただけの子がいて、今回も誰かの新しい発見になったのではないのでしょうか。(あかり)



プロジェクトX「15年間の出会いを大切に」

気がつけばフェスティバルまで3か月…。若干の焦りを感じながら、ややお尻を叩かれる形で始動した今年のプロジェクトX。2月17日(日)に行なわれるたまりばフェスティバルの全体を支えている実行委員会のスタートです。今年はフリースペースえんが開設して15年。“すべての人との出会いを大切にしたい”そんな思いを込めながらつけた今年のテーマは「一期えん。」。たくさんのイチゴのイラストをプロジェクトXメンバーが描き下ろした、世界でたったひとつだけのオリジナルのチラシとチケットが出来上がりました。他にも、当日パンフづくりやタイムテーブルづくりなど、本番に向けてまだまだプロジェクトXは大忙しです。ぜひ一緒に支え、盛り上げてくれるメンバー、大々募集です。興味のある人は、気軽にプロジェクトXメンバーに声をかけてね。ぜひ、あなたの力をかしてください！(マサ)



演奏も料理もいっぱいクリスマスパーティー

年のしめくりはクリスマスパーティー！12月21日(金)にえんで開催しました。いつも来ている人や久しぶりの人など、ほんとに多くの方が参加してくれて、今年はなんと130名を超える人数でした！ネギの司会から始まり、福峯さん率いる三線メンバーによる心温まる演奏や、最近えんではやりつつあるアイリッシュ音楽の演奏、「茶柱」によるバンド演奏など、多くの出し物もありました。終盤には毎年恒例のビンゴ大会！いつになく真剣な面持ちの子ども達。読み上げられる番号を聞いて自分のビンゴカードと何度もにらめっこ。「ビンゴ！」と真っ先に景品を手にしたのは、なんとスタッフのあかりでした(笑)。グラタンや焼きそば、海苔巻きなどたくさんの美味しいお料理と皆さんからの差し入れに囲まれて本当に楽しくて幸せな3時間でした。(しもん)



指定管理施設

『やってみよう』がいっぱいある場所です
川崎市子ども夢パーク

川崎市青区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>



ブリュッケ だより



～パンプキン・カービング！～

ブリュッケでは、毎年ハロウィンパーティーを開催しています。至ってシンプルですが、カボチャづくしのランチにカボチャのケーキをみんなで一緒に作って食べています。仮装好きな若者は、ハリーポッターの衣装で登場したりもしています。そんな質素なパーティーに昨年より彩りを加えたのが、「パンプキン・カービング」。

八百屋さんでカボチャを買ってきて、専用のナイフで実をくり抜きながら作成するカボチャのアートです。講師は、「えん」でもお馴染みの中川さん。昨年はパーティーの1週間前に作成したため、パーティー当日にはカボチャが腐ってしまうというハプニングが発生！カボチャは「生ものである」という学びをしました。今年は当日に作成し、みんなの手際も良かったため、芸術作品が続出。2つ作る若者もいました。質素だけれど、手作りの感じがブリュッケらしくていいなあと感じるイベントでした。(佐藤)



HAPPY えん 祭り

★寒さが厳しくなってきた今日この頃。中高生女子たちを中心にバトミントンブームがきている。初めてやる人から上級者までみんな混ざって代わる代わる何時間もやることも。音楽をかけて楽しくやっているときもあれば本気で点の取り合いをしているときも。ふらっと普段ゲームで遊んでいる子が来て、やってみたら本気勝負になり汗びしょびしょに。寒い季節の本気バトミントン結構良いですよ★(あかり)

★新聞を手にして、真剣に何かを探しています。今日のお題は、「にんべん」。自分が手に取った新聞の中でお題の漢字をさがし、見つけたものをプリントに書いていきます。「やったー、3個いっぺんにみつけ！」「うわー、この間、さんずい探しすぎて、今日もさんずいばかり目にはいっちゃうよ」と今日もにぎやかなおはスタの時間でした。(のぶこ)

★11月末、夢パーク前の落ち葉がスゴかったので、中高生達に「落ち葉拾いやらない？」と誘うと、返ってきた言葉は「やらな～い!!」。でも、そこにいた「きれいにし隊」隊長(中学生女子)によると、すでに落ち葉のことは気になっていて落ち葉拾いを計画中とのこと。数日後、夢パークの前をきれいにする頼もしい姿がありました。(ダイスケ)

西んのつばやき

20世紀末頃から「たまりば」では、大きな変化の波を感じていた。お金がないから通えないといってやめていく若者たちの存在だった。学校に行けない、家でひきこもるというのは、個人や家庭の問題で片づけられていいのだろうか。

私たちは考えた。これは行政で取り組まなければならない課題ではないのかと。行政と共に努力を積み重ねて「公設民営のフリースペースえん」を15年にわたって運営してきた。学校外でも豊かに育ち学べる居場所の確保。一人ひとりの個性を尊重し、暮らしをベースにした多様な学びの場をつくる。しかもそこは、経済的に厳しい家庭環境の人でもあたりまえに参加できるように無料でなければならない。

また、様々な障がいがある子どもや若者たちも通える場でありたい。高校年齢以上の人でも居られる場でありたい。そんな願いを実現しようと努めてきた。今では「えん」の説明会参加の申し込みだけでも長く待たされる。定員30人で始まった「えん」の登録者は145人を超えた。先日開かれた「えん」のクリスマス会の参加者も130人を超え、あまりの混雑に2階の「ごろり」などで過ごした子どもたちもいるほどの現状である。

先日市長ともお会いして今の状況をご説明し、来年度から何らかの行政内の動きが期待されるまでにはきた。それにしても、「えん」が始まるときに試算された職員の人件費は月額17万円(額面)。市職員が定年退職後に非常勤として再任用される際の金額をもとに算出されたものである。若者が一人で暮らしていくにはとても厳しい。しかも職員数は6人分。講座講師の人件費枠もなかった。

結局これ以上の予算がつかず事業開始。2006年に指定管理者制度が導入された際にこの数字をもとに予算計上され、お金は増えない。その間、様々な背景を持つ子ども・若者が増え続け、現在「えん」のスタッフは常勤・非常勤あわせて13人。薄謝でお願いしている講師の先生方をはじめ、たくさんボランティアの方々のお力でなんとか運営がまかなわれている。NPO法人から持ち出されるお金は、どんなに少なく見積もっても年間1000万円以上。今でも30代のスタッフが大半で初任給程度の金額で働いている。

認定NPO法人となったこの機会に、1人でも多くの方々のご寄付によって支えていただけたらと願う。どうぞよろしくお願いします。(西野博之)



川崎若者就労自立支援センター
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人がつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ。
様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら・・・。

※ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～29歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

インフォメーション

★くわしくは事務局まで★

夢パーク 初夢！新春イベント

1月13日(日)11:00~15:00(夢パは17:00閉所)

もちつき、どんど焼き、書初めなどのお正月行事やかきた・ペーゴマ・こま・はねつきなどの昔遊びをみんなで一緒に楽しもう♪

夢パーク KUJI ROCK 19 winter- vol.41

1月20日(日) 時間未定

スタジオ利用者している中・高生バンドが企画・運営するライブイベント♪夢パークのごろりが“ライブハウス”になるよ♪

祝・フリースペースえん 15周年

たまりばフェスティバル 2018 一期一えん。

2月17日(日)14:00~17:30(13:30開場)

「えん」で行っている講座や自主企画など一年間を通して行ってきた活動発表の場です。楽器演奏、創作劇、歌、ダンスなど盛りだくさん♪子どもたちが立ち上げた、“プロジェクト X(フェスティバル実行委員会)”が中心となって企画・運営しています。裏方もステージもみんなが主役！1年分のえんらしさが凝縮された1日です♪

チケット:小学生 100円、中学生から 500円、

おとな 1,300円

協力券 1,000円(当日+300円で入場可能)

※チケットのお求めは「えん」まで。当日券もあります。

＜子どもの居場所に関わる大人の養成講座(全3回)＞

講師:長谷川俊雄さん(白梅学園大学教授)

第1回 11月24日(土) 安心・安全な空間と関係をつくる境界

第2回 12月8日(土) 気持ちと考えをお互いに尊重できる境界

第3回 1月26日(土) 自律と自立を育む境界

※大変好評により、定員に達しましたので、受付を終了させていただきます。

フリースペースって、どんなところ？

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第6回 2月9日(土) 10:00~12:00

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方
会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
資料代 500円 <要予約・先着20人まで>
申込み 第6回 1月8日(火) 10:30から受付開始

ご支援いただきありがとうございます

(2018.9.16~2018.12.12)

NPO法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。

(敬称略・順不同。希望されない方は掲載していません。)

なお、掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。

佐藤研二・真理、岡本宏次、宮崎芳正、矢崎達則、山本将也、山下美智代、田老伸匡、興水典久、清水善幸、竹内昭・太郎、遠山則子、生活クラブ江別子どもの未来を考える会、石川富士子、鈴木咲和、新居龍太、新田学、廣渡道明・明子、山田恵理子、全国PTA問題研究会、後藤みしお、斉藤悠馬、澤谷健央・哲央、サポートステーションさいとう、徳永恭子、石戸博也、藤川昂大・美帆、マリク慎子、下作延第一町内会、中村勇、石橋充行・大吉、松尾浩子、国際ソロプチミスト川崎-百合、佐藤秀治、宇井新・のどか、村岡美和子、赤野彩希、寺田知宏、藤井景子、橋爪裕次、武井哲郎、岡部成美、羽田里加子、町田恵美、佐々木とも、松山朋子、寺田樹生、梅田美穂、小柳賢治・則子、小寺顕一、高橋典之、三田恭一・知美、高田裕子、木内英紀、畑本和彦・菜穂美

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です!

振込先→郵便振替口座 002002-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

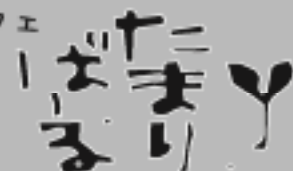
※他金融機関からも入金できます。(支店名を「セ」で検索してください) ※

口座番号→〇二九(ゼロニキュウ)店 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562



オーガニックカフェ



TEL/FAX 044-813-5248

南武線久地駅下車徒歩2分
川崎市多摩区宿河原6-26-24 ラジビル1F